

千葉県立小金高等学校

令和4年度 部活動に係る活動方針

教育活動としての部活動の意義

学校における部活動は、学校教育の一環として、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、スポーツや芸術文化等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものである。

また、教育課程と関連付けることで、生徒の多様な学びや経験の場、自らの興味・関心を深く探究する機会などの充実にもつながるものである。

学校の重点目標

- 1 教育課程を適切に運営するため、生徒・保護者・地域等の声に耳を傾けながら、効果的カリキュラムマネジメントを実施する。
- 2 自由闊達な校風を維持し、さらに活力ある学校づくりを推進する中で、生徒の自主的能力を育成・支援し、学力の向上と希望進路の実現を図る。

部活動の基本方針

1 小金高校が目指す部活動

- (1) 学習活動と調和を図りながら、生涯にわたって活動に親しむ基礎を育むとともに、個々の能力を最大限に伸ばすことにより、卓越した技能・知識の習得を目指す。
- (2) 自主性、協調性、責任感、連帯感を育成し、心豊かな人としての成長を目指す。
- (3) 互いに競い、励まし、協力する中で友情を深め、切磋琢磨していくことで、バランスのとれた人間関係の形成を目指す。
- (4) 各部活動の特性等を生かし、地域行事や催事等に関わる事で、生徒の達成感や充実感、社会性の醸成に役立てることを目指す。

2 適切な指導

- (1) 科学的トレーニングなど、効果的な練習方法等の積極的な導入により、短時間で効果が得られる合理的でかつ効率的な指導を行うことができるよう努める。
- (2) 体罰・ハラスメントの根絶を徹底するとともに、生徒の心身の健康管理や事故防止に万全を期す。
- (3) 発達段階や体力、技術の習得状況等を把握し、健康状態に留意しながら個に応じた指導を行う。
- (4) 部活動毎に活動目標を定め、生徒・保護者に対して活動目標・活動計画について説明し、理解を得る。

3 適切な休養日の設定

- (1) 学期中は、少なくとも平日に1日、週末に1日の休養日を設けることを基準とし、各部活動の実態に応じて設けることとする。週末に大会等に参加した場合は、他の日に休養日を振り替える。
- (2) 長期休業中は、学期中に準じた扱いとするが、十分な休養を取ることができるよう、まとまった休養期間を設ける。
- (3) 1日の活動は、平日は2時間程度とし、学校の休業日は、準備等を含め4時間程度とする。なお、週間、月間、年間単位での活動頻度・時間については、各部活動の実態に応じて、目安を定める等の工夫も可とする。

4 学校の取組

(1) 運営体制

- ア 経費の徴収や会計報告の作成などに関しては、適切に処理をし、説明責任を果たせるようにする。
- イ コーチングや安全対策等について、顧問の研修機会を設けるなど、指導者としての資質向上に努める。
- ウ 活動計画・活動実績について、活動計画は、学校・生徒・保護者へ事前に提出・提示する。活動実績は、試合後速やかにHP等で公表できるよう努める。
- エ 学校の校務全体が効率的・効果的に実施されるよう、教師の他の分掌や経験等を考慮して顧問の配置を行う。また、勤務時間管理等を行い、顧問の負担が過度にならないよう努める。

(2) 事故防止

- ア 施設・設備や用具の日常的な安全確認と点検を行う。
- イ 休憩や水分補給等を適切に行い、生徒の心身の健康管理や事故（熱中症を含む）防止に万全を尽くす。

5 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ア 新型コロナウイルス感染症対策の「部活動チェック表」等を活用し、感染症予防対策及び感染拡大防止対策を徹底する。
- イ 校外練習や試合の行き帰り、学校の登下校では、飲食等は慎み、寄り道することなく速やかに帰宅する。また、公共の場や公共交通機関を利用する際は、マスクを着用し、会話を慎む。

(2) 保護者、地域、関係団体との連携を図り、良好な関係を構築し、地域に根付いた「応援される部活動、学校」を実現する。

(3) この活動方針は、毎年評価し、改善に努める。